

平成 28 年 10 月 12 日に発生した東京電力の地中ケーブル事故を受けた  
対応に関する報告について

当社は、平成 28 年 10 月 12 日に東京都内で発生した停電を踏まえ地中送電線（OF ケーブル）の緊急点検を実施し、異常がないことを経済産業省に報告しました。

（平成 28 年 11 月 11 日お知らせ済み）

その後、地中送電ケーブルの安全に万全を期すように、上記の緊急点検に加え、火災防止の観点からの点検と対策について、経済産業省から指示文書（平成 28 年 11 月 16 日付）が発出されました。

この度、これに対して、地中送電線（OF ケーブル）の点検を実施し、現在のところ異常がないこと、及び今後、計画的に絶縁油を使用しないCVケーブルに張替えていくことを、本日、同省に報告しました。

今後とも、電力の安定供給並びに公共の安全確保に努めてまいります。

〔参考〕点検箇所・内容（緊急点検含む）

○点検箇所

- ・OF ケーブル線路 : 8 線路（回線延長 約 68.2 km）

○点検内容

- ・ケーブル等点検 : 8 線路（完了）
- ・油量、油圧点検 : 141 箇所（完了）
- ・絶縁油成分分析 : 90 箇所（残り 117 箇所）

お客さま停電調整等のため今後実施予定

○点検方法

- ・ケーブル等点検 : ケーブルの漏油、支持状態、異音、異臭、異常発熱等の有無及び消火設備等の火災防止状況を確認
- ・油量、油圧点検 : ケーブルに接続している油槽の油量や油圧を確認
- ・絶縁油成分分析 : 絶縁油中に含まれるガスの成分を分析し、劣化兆候を確認

以上